



感染性胃腸炎に注意 手をよく洗いましょう！

令和2年1月8日
富山県感染症情報センター
(0766-56-5431 直通)
(0766-56-8142 細菌部)
(0766-56-8143 ウイルス部)

感染症発生動向速報

(令和元年第52週分・12月23日～12月29日)

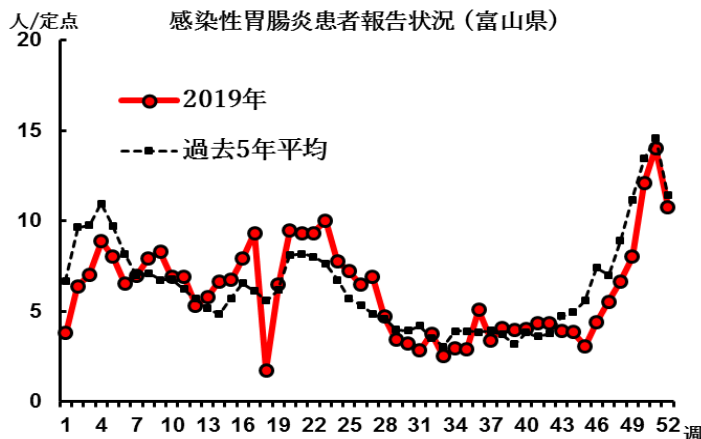
(令和2年第1週分は令和2年1月10日(金)発行予定です。)

《インフォメーション》

●感染性胃腸炎

県内では、2019年第52週(12月23日～29日)において、感染性胃腸炎の定点医療機関あたりの報告数が10.76人となりました。県内における感染性胃腸炎の報告数は、11月から増加しています。この傾向は過去5年間の発生状況とほぼ一致しています(図参照)。

感染性胃腸炎は、細菌またはウイルスなどの病原体による下痢、おう吐を主症状とする感染症の総称です。ノロウイルスによる感染性胃腸炎や食中毒は1年を通して発生しますが、特に冬季に流行します。ノロウイルスは手指や食品などを介して経口感染し、24～48時間の潜伏期を経て、吐き気・嘔吐・下痢・腹痛等を引き起こします。抗ウイルス薬やワクチンはありません。治療は輸液等による対症療法が中心になります。特に、乳幼児や高齢者では、脱水症状を起こしたり、体力を消耗したりしないよう、水分と栄養の補給が重要です。また、ノロウイルスの排出は症状が消失した後も数週間ほど続きます。次の事項に注意して、家庭内や施設内での感染を予防しましょう。



- 食事の前やトイレの後などには、必ず手を洗う。
- 下痢やおう吐等の症状がある方は、食品を直接取り扱う作業をしない。
- 糞便や吐物は、マスク・手袋を着用したうえで、塩素系消毒剤等を用いて処理する。
- 加熱が必要な食品はしっかり加熱(中心部が85℃～90℃で90秒以上)して食べる。

《全数報告の感染症》

二類感染症 結核 6件 (①第51週診断分：80歳代、女性 ②70歳代、男性
③～⑤すべて80歳代、女性 ⑥90歳代、男性)

五類感染症 急性脳炎 1件 (10歳代、男性)
劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件 (10歳未満、男性)
侵襲性インフルエンザ菌感染症 1件 (20歳代、女性)
侵襲性肺炎球菌感染症 2件 (①70歳代、男性 ②80歳代、女性)
水痘(入院例) 1件 (第51週診断分：30歳代、男性)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	インフルエンザ	20.56 (↓)	26.88
2位	感染性胃腸炎	10.76 (↓)	14.03
3位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6.17 (↓)	6.76
4位	手足口病	1.45 (↑)	1.31
5位	伝染性紅斑	0.76 (↓)	0.79
6位	咽頭結膜熱	0.52 (↓)	0.79

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

○感染症発生動向調査報告状況（令和元年第52週 令和元年12月23日～令和元年12月29日）

分類	疾患	今週報告分（第52週）						累積報告数					
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核	1				4	5	27	12	57	28	58	182
三類感染症	細菌性赤痢								1			1	2
	腸管出血性大腸菌感染症								3	8	6	14	31
四類感染症	E型肝炎							3		3		1	7
	A型肝炎							2				1	3
	つつが虫病							2					2
	デング熱											1	1
	レジオネラ症							5		16	11	22	54
五類感染症	アメーバ赤痢										1	4	5
	ウイルス性肝炎									1			1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症									5	1	4	10
	急性弛緩性麻痺									1			1
	急性脳炎			1			1			2	2	3	7
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症					1	1			4	3	8	15
	後天性免疫不全症候群											6	6
	侵襲性インフルエンザ菌感染症					1	1			1	3	3	7
	侵襲性肺炎球菌感染症			1		1	2	4		15	10	17	46
	水痘（入院例）							1	3	1		6	11
	梅毒							2	1	2	1	19	25
	播種性クリプトコックス症											1	1
	破傷風									1			1
	百日咳							2	5	79	66	101	253
	風しん								1			3	4
	麻疹									1	2	1	4
	定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ	145	137	273	126	306	987	1,899	1,598	4,213	2,326	6,300
		20.71	27.40	21.00	18.00	19.13	20.56						
RSウイルス感染症		1		1		2	4	49	83	341	128	518	1,119
		0.25		0.13		0.20	0.14						
咽頭結膜熱			2	9		4	15	199	32	277	51	226	785
			0.67	1.13		0.40	0.52						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2	1	71	12	93	179	137	144	1,120	298	1,639	3,338
		0.50	0.33	8.88	3.00	9.30	6.17						
感染性胃腸炎		33	27	71	13	168	312	1,395	1,116	1,885	637	4,289	9,322
		8.25	9.00	8.88	3.25	16.80	10.76						
水痘		6		4		2	12	32	24	67	22	307	452
		1.50		0.50		0.20	0.41						
手足口病		7	6	14		15	42	290	354	1,191	294	1,736	3,865
		1.75	2.00	1.75		1.50	1.45						
伝染性紅斑		2		6		14	22	133	95	533	129	775	1,665
		0.50		0.75		1.40	0.76						
突発性発しん		1		3	2	2	8	42	39	230	55	198	564
		0.25		0.38	0.50	0.20	0.28						
ヘルパンギーナ								165	133	411	138	296	1,143
流行性耳下腺炎		1					1	5	8	11	2	28	54
	0.25					0.03							
急性出血性結膜炎										13		13	
流行性角結膜炎			1			1	1	10	42	31	11	95	
			0.50			0.14							
細菌性髄膜炎									1		5	6	
無菌性髄膜炎							2	1			1	4	
マイコプラズマ肺炎							2	8	10	2	6	28	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）							1		8	7	2	18	
インフルエンザによる入院患者（*）	2	1	6	4	5	18	19	2	15	18	27	81	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和元年第36週(9月2日)～の集計です。

インフルエンザ定点における患者診断状況

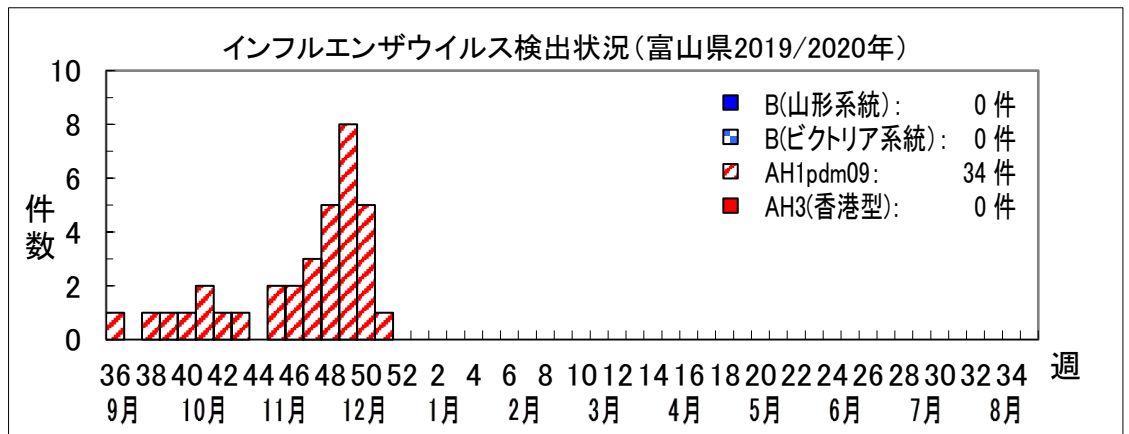
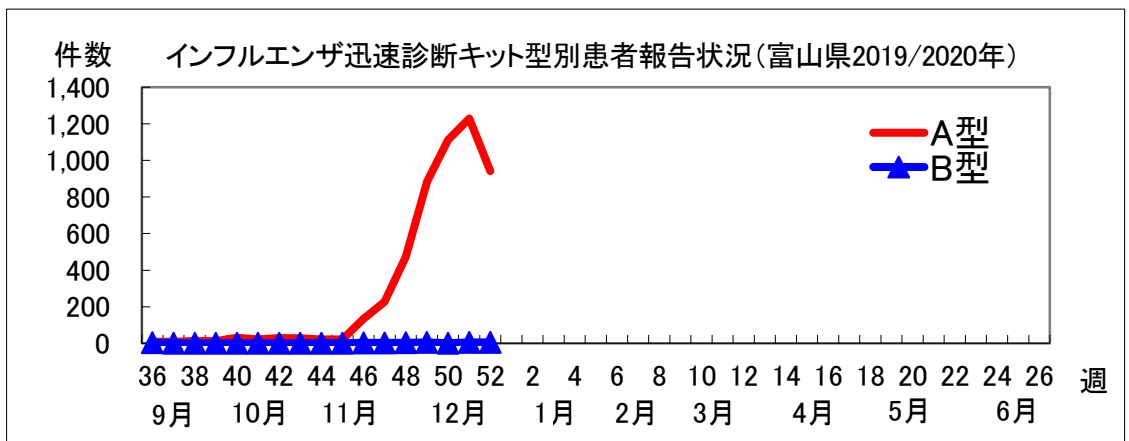
このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。

現在、下の表によると、A型が95.4%となっています。

第52週(12/23~12/29)：富山県 20.56人/定点 (単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 ^{※2}	合計
		A型	B型		
新川	6 / 7	130	1	14	145
中部	5 / 5	135	2	0	137
高岡	13 / 13	262	0	11	273
砺波	7 / 7	126	0	0	126
富山市	16 / 16	289	2	15	306
富山県	47 / 48 ^{※1}	942	5	40	987
富山県累計(2019年36週~)		5,196	30	226	5,452

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が47か所あったことを示します。
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。





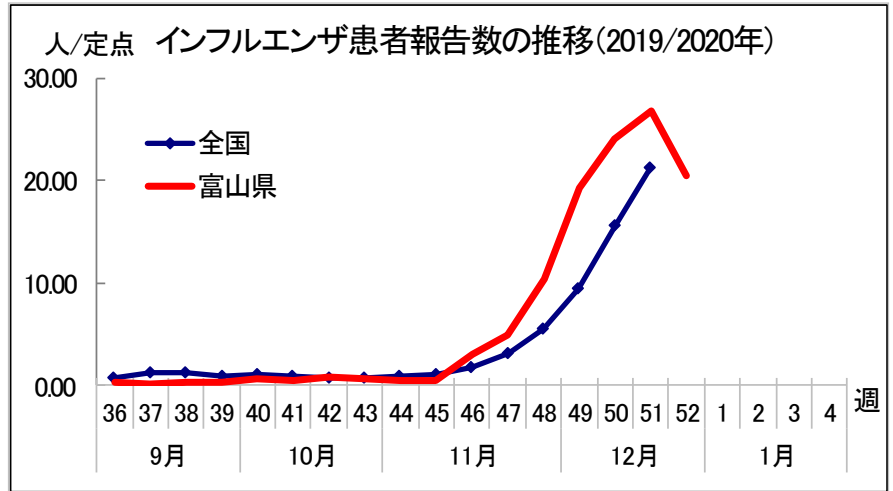
● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第 52 週 (12/23~12/29) : 富山県 20.56 人/定点

新川 HC (20.71)、中部 HC (27.40)、高岡 HC (21.00)、砺波 HC (18.00)、富山市 HC (19.13)

今週、県内のインフルエンザ報告数は 20.56 人となりました。2019 年 48 週以降、注意報レベルとなる 10 人を超えた状況が続いています。

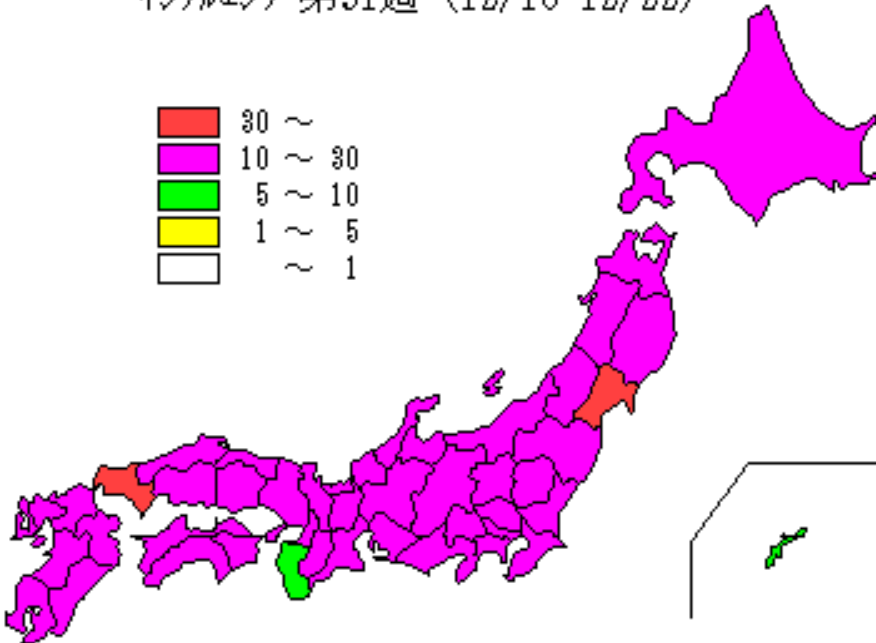
今後しばらくは流行が継続すると予想されます。



● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第 51 週 (12/16~12/22)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 21.22 人となり、前週の 15.62 人より増加しました。45 都府県で前週より増加しています。

インフルエンザ第51週 (12/16-12/22)



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	26.28	滋賀県	18.69
青森県	22.52	京都府	17.19
岩手県	18.24	大阪府	13.69
宮城県	31.80	兵庫県	16.27
秋田県	22.96	奈良県	12.35
山形県	26.22	和歌山県	7.22
福島県	26.17	鳥取県	18.03
茨城県	19.66	島根県	22.24
栃木県	22.13	岡山県	13.24
群馬県	14.06	広島県	22.72
埼玉県	29.57	山口県	41.46
千葉県	24.76	徳島県	15.54
東京都	22.30	香川県	11.64
神奈川県	23.26	愛媛県	12.03
新潟県	24.54	高知県	10.65
富山県	26.88	福岡県	21.73
石川県	20.44	佐賀県	16.10
福井県	12.54	長崎県	17.10
山梨県	15.73	熊本県	25.84
長野県	26.60	大分県	28.91
岐阜県	16.60	宮崎県	19.19
静岡県	13.58	鹿児島県	23.64
愛知県	27.55	沖縄県	7.36
三重県	20.54	全国	21.22